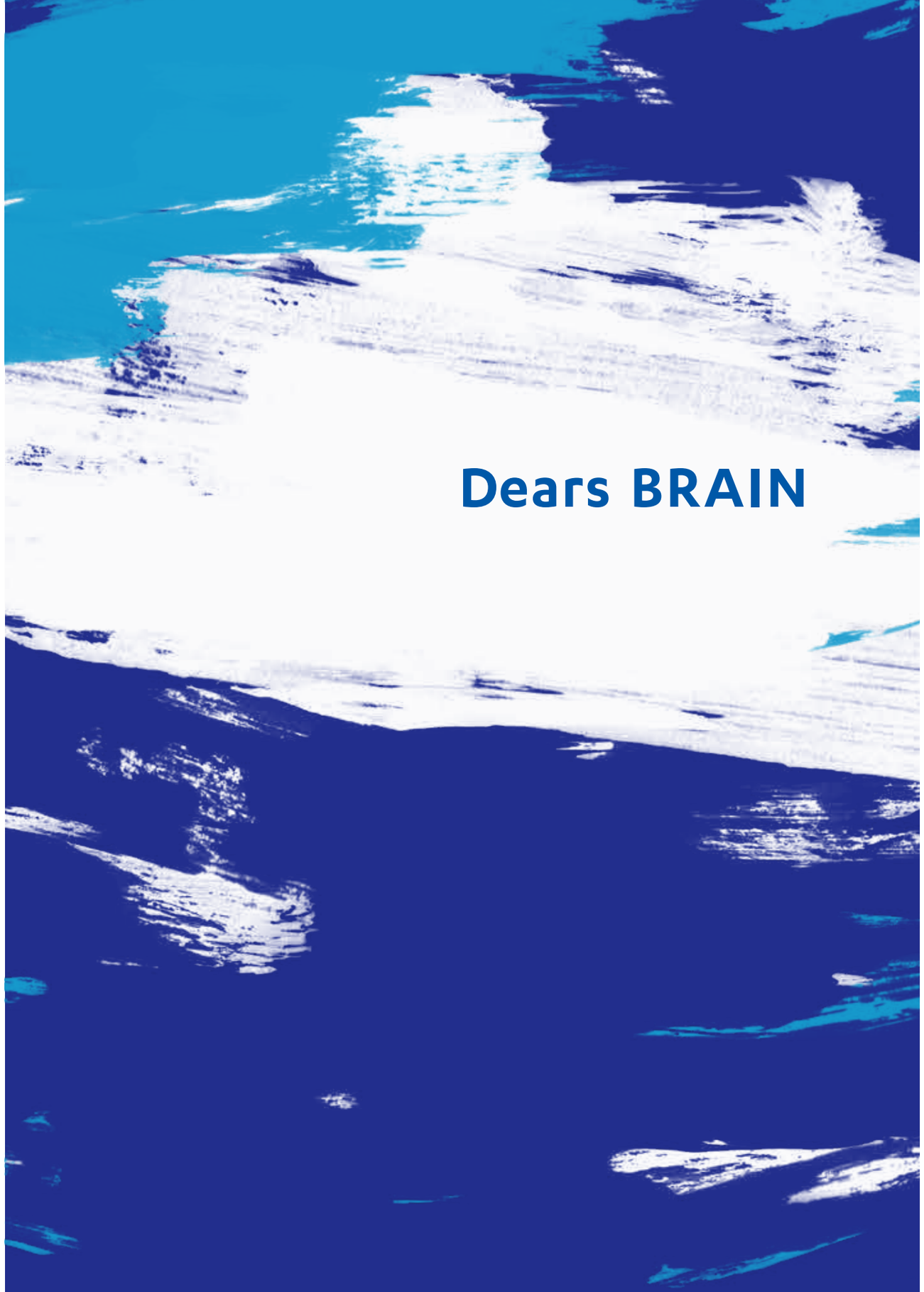

Dears BRAIN

100%の熱量をそそぎ込めること。
自分をまるごとぶつけて想いを形にして、
その成功を、仲間と分かち合う。
そうして得た成長の先に、
乗り越えたくなる壁と出会い、もがき楽しみながら
いつしか、まだ見ぬ自分が目覚めていく。
自分の心を動かすことを惜しまない人。
そんな人たちが、ほんとうに人の心を動かしていける。
私たちは、そう信じているのです。

自分のすべてを、そそぎ込め。
そして、自分を超えていけ。

人生にはきっと、いくつかの心に残るシーンがある。
その一瞬が、輝いていればいるほど、
ともに時を過ごした仲間や
家族やパートナーとの絆はきっと、深く結ばれていくはず。
だから、私たちは、ただ最高の瞬間を届けようと、
ひたむきに人を想い、誰よりも深く、考え抜くのです。
人と人が結ばれる瞬間に、これまでにない感動を創る。

人生を支える、
一瞬を創れ。

ふたりの
未来を紡ぐ

～180日を一緒に歩む～

シニアウエディングプロデューサー

土屋 玲美

結婚式を、
私たちはスマイルと呼ぶ。
その舞台裏を覗いてみる。

スマイル当日はもちろん、打ち合わせの時から、
ワクワク楽しく過ごしていただきたい。
打ち合わせの期間は、
夫婦の絆を築き上げていく大切なプロセス。
そして、ふたりの過去と現在、未来をつなぐ時間。

スマイルには、必ずふたりらしいテーマがある。
想いやエピソードから編み出すテーマは、
これから紡ぐふたりの人生のテーマになっていく。

シェフ、フラワー、音響など、それぞれのプロフェッショナルが、
ふたりのためだけにアイデアを出し合う。
その時間から生まれる提案が期待を超えていく。

私たちの仕事は、お客様と対面している時間だけではない。
たとえば、お客様へのお手紙、商品の発注、チームに共有する資料づくり。
お客様からは見えない、些細に見える仕事も
最高のスマイルを創り上げるためには重要だから。

挙式スタート直前の、数分間。
この小さな瞬間も大切に、
ふたりと想いを交わす。

晴れ姿の新郎様、新婦様と
ふたりの幸せを誰よりも願う親御様との対面。
涙を目に浮かべるお父様、
笑顔をおさえきれないお母様。
家族の心が動くこの瞬間が、
スマイル当日の中でも大好きなワンシーン。

たとえ、何組ものお客様を担当していたとしても、
ふたりにとってのウエディングプロデューサーは私だけ。
そして、スマイルの日もふたりにとっては、今日という一日だけ。

司会、音響、サービス
チームの士気を高めていく。
全員の想いが会場に届くように。

スマイル当日は、最高のチームワークが必要。
ふたりとゲストの表情を見守りながら、
チームの温度も上げていき、息を合わせてこの瞬間を創り上げる。

チーム全員でオールキャストフィナーレ。
スマイルに心を込めたからこそ、
ふたりと一緒にゲストへ感謝の気持ちをお届けする。
満面の笑顔で手を振るこの瞬間、胸が熱くなる。

結婚式を創る仕事は、その一日だけでなく、
ふたりの未来をつくっていく仕事でもある。
そう信じて日々学び、働いています。

学生時代は国際協力について学んでいたこともあり、「人の幸せに寄り添える仕事がしたい」
という想いから、ウエディングプロデューサーの道を選びました。
ディアーズ・ブレインは担当一貫制だからこそ、
ふたりの未来の選択をも変えていくきっかけになる結婚式を提案できると思っています。
だからこそ、「ふたり」で選んで「ふたり」で決めた結婚式が、
ふたりのこれまでの人生を少しでも多く思い返して、
お互いが宝物のような存在だと思えるようにと想いを込めてプロデュースをしています。
新郎様、新婦様には、打ち合わせを思いっきり楽しんで、かつお互いをもっと好きになってほしい。
時代やトレンド、年齢層によってお客様の求めるウエディングスタイルはどんどん多様化しますが、
そんな中でも「プロデューサーとして譲れない大切なもの」は
ぶらさず持ち続けることが大切だと考えています。
そしてそれをお客様へお伝えしながらも、時にはもっと自由に、もっとカジュアルに結婚式を創り、
「こんな形だったら結婚式をしたい」とお客様に思っていただけるような
プロデュースの手腕を学んでいきたいです。

1年目よりも2年目、
3年目よりも5年目、
5年目よりも今が一番楽しい。

関根眞子

2019年入社　経済学部卒

仕事を通じて、ありったけの愛を届け続ける私でいたい

お客様からのプレゼント。自分自身も感謝の気持ちを忘れないようにいられる、特別な宝物。

見学に来た就活生にも心を尽くす、忘れられないおもてなし

何事にも心を込めて全力投球できる「人のチカラ」を最大限に発揮できる仕事がしたいと考え、就職活動をしていました。留学をしていた経験から、国籍を問わず多くの方々におもてなしで記憶に残る女性になりたいと航空業界を目指していた中で、笑顔が溢れるブライダル業界にも興味を持つようになり、ディアーズ・ブレインの説明会に参加しました。初めは些細なきっかけで見始めたブライダル業界でしたが、選考が進むにつれてディアーズ・ブレインの人の熱さと魅力に惹かれ、自分が働く姿を具体的にイメージするようになりました。最後の最後まで航空業界とブライダル業界で迷いましたが、社員の方と話す機会をいただき、その時の思いを打ち明けました。話を親身に聞いてくださるだけでなく、帰りには、なんと手作りのメッセージカードのサプライズが。一就活生にここまで心を尽くす方々なら、お客様にも真摯に向き合って仕事をされているのだろうと思い、私もここならありったけの愛とおもてなしを届けられる!とワクワクが止まらず、入社を決意しました。

大切な一日を預かる責任も何もできない悔しさも学んだ初スマイル

先日、初めて担当したスマイルが形となり、スマイルの素晴らしさと同時に、悔しさも強く感じる一日となりました。スマイル全体をより良いものにするため、当日まで司会や音響などのパートナー様からご提案をいただいたのですが、私一人では臨機応変に対応できず、結果的には先輩やチームの皆さんにたくさんフォローをしていただき、満足度の高いスマイルを創り上げることができました。ただ、打ち合わせ期間を一緒に過ごしてきたからこそ自分が一番お客様の想いを知っているはずなのに、一人では何もできなかったことがとても悔しくて。ウエディングプロデューサーは一人では何もできない、おふたりとパートナー様をつなぐ架け橋なのだと感じると同時に、おふたりだけでなくゲストの心もお預かりする責任の重さを実感しました。悔しさの残る初スマイルでしたが、後日、新婦様からお手紙をいただき、そこには、「常に全力な関根さんが担当でよかった」との言葉が。昔から「何事にも全力投球すること」を大切にしてきたので、その姿勢は周りに伝わること、信念を貫く大切さをお客様から教えていただきました。これからも関わる人すべてに全力で向き合いながら成長していきたいです。

スマイルも、就活も、「一生に一度」関わるすべての人に愛情をそそげる人でありたい

初めてのスマイルを経験し、今の目標はおふたりの想いに寄り添えるウエディングプロデューサーになること。お客様との会話で、お誕生日やお付き合いを始めた日などお客様の数だけそれぞれの「記念日」があり、思い出を刻まれていると気づきました。準備期間では新たな記念日に向けて、おふたりとゲストの方々を想像し、どうしたら笑顔になってくれるか、感謝を伝えられるかを一生懸命考えています。式を挙げなければ普通に過ごす一日が、その日を想えば想うほど特別な日に変わっていく。その過程を一緒に過ごす素晴らしさをこの仕事を通じて感じています。そして、寄り添う力を高めることができたら、目の前のお客様を幸せにするだけでなく、同じ志をもつ仲間を増やしていけるような採用の仕事にも携わりたいです。私も就職活動の際に、社員の方には「対就活生」ではなく、同じ目線で一生に一度の就活にしていただきました。私が今、ワクワクしながら仕事ができるのは選考の時に出会った一人一人の先輩たちが一緒に考え抜いてくださったから。そんなディアーズ・ブレインの魅力でもある“常に相手を想う気持ち”を、仕事を通じて体現していきたいと思います。

内定者時代や導入研修で絆を深めた、大切な同期。よき理解者でもあり、ライバルでもある存在は毎日を頑張る活力になっている。

増田和也

2018年入社　教育学部卒

自分らしさを発揮しながら、誰かの人生に深く関わっていく仕事

新入社員研修で印象的だったのは、チームプレイの重要さ。チームを組み、様々な課題に挑戦する中で、仲間たちのいろいろな考えを取り入れることで、学生時代と比べて視野の広がりを感じた。

教員志望から、ブライダルの世界へ

アメリカで幼少時代を過ごしたこともあり、日本の教育はもっとできることがあるのではないかと感じたことから、小学校の先生を目指していました。ただ、教師になる前に社会人経験を積んだ方がより幅広い価値観を伝えられると思い、一般企業へ目を向けるように。最初は人と接する仕事に興味があったことから航空業界を志望していましたが業界研究を深めていくうちに「たった一日ではなく、長くお客様と関わりたい」と思うようになりました。そんな時にディアーズ・ブレインと出会い、ブライダル業界ならお客様と長く深い関係が築けると気がつきました。さらに、ずっと続けてきたダンスの経験が活かせることも決め手になりました。ダンスは「観客目線」が大切。短い時間の中で、人を惹き込み、抑揚をつけ、見せ場を考えていく。結婚式も同じでゲストの視点や感情の抑揚を呼び起こす時間を創ることが大切です。そんな共通点に気づき、今度はそれを結婚式というステージで創っていきたいと思うようになりました。

「自分らしく働くことが実現できる」会社が、ここだった

ブライダル企業で何社か選考を受けていましたが、一番自分のことを深く掘り下げてくれ、“面接官と学生”ではなく、一人の人間として対等に向き合ってくれた会社、それがディアーズ・ブレインでした。自分がこの業界で実現したいことを伝えたところ「いいね、一緒にやろう!」とまるで自分のことのように前向きに受け止めてくれた。そんなふうに応えてくれた企業は他になく、ここが一番自分らしく働ける場所だと感じ、絶対に入社したい!と強く感じたことを覚えています。

さらに、ディアーズ・ブレインのチーム力にも共感しました。先ほどダンスの経験について話しましたが、ダンスも結婚式も、一人でプレイするのではなくチームが一つになることが必要不可欠。ディアーズ・ブレインはブライダル業界の中でも一番チームワークを重視していると感じ、自身の経験を最大限発揮できるのではないかと思ったのです。

男性プロデューサーとして、どんなふうに活躍できるのか

一方で、ウエディングプロデューサーは女性のイメージが強く、男性でも活躍できるのか、という不安がありました。それを吹き飛ばしてくれたのが、今の上司でもある支配人。就職活動中に話を聞き、輝いている姿に自分の未来を重ねることができました。そして今、この仕事が心から楽しい。結婚式は「新婦様のためのもの」と思われがちですが、新郎様、新婦様どちらかのためのものではなく、おふたりのためのもの。だからこそ、男性として新郎様にも寄り添うことができていることがおふたりらしいスマイルを創り上げていくことにつながっているのだと実感しています。

様々な背景を持ったお客様がいらっしゃる中で、結婚式を挙げることが難しい方もいらっしゃいます。そういった色々な壁を取っ払って、すべてのおふたりのために、新しい結婚式のあり方やサービスの形を創りたい。それがこれからの夢です。

コンテストで賞を受賞するほどダンスに打ち込んだ学生時代。チームをまとめ、演出をつけ、自らも踊る。その経験はウエディングの企画にもチームビルディングにも活かせている。

「お客様のために」と
一生懸命になれるメンバーが
集まったチーム。

多様な価値観が集まることで、
自分の可能性を広げられる場所。

一生モノの仲間たちと出会える。

常に走り続けるために、
いつも“現状不満足”。

あなたにとって、
ディアーズ・ブレインとは？

ここには、様々なキャリアや志を持った社員がいます。
一人ひとりがディアーズ・ブレインをどう捉えているのかを、尋ねました。

向上心を常に持ち、
きらきらと前向きな集団。

自分の限界を超えるために、
逆境をも楽しめる。

自ら考え、切り拓いていく集団。

お客様と一緒に泣いて、笑う。
感受性が豊かな人たち。

仕事の裁量が大きく、
成長できるチャンスがたくさんある。

変革を恐れず、

挑み続ける、

そんな集団でありたい

代表取締役社長

小 岸 弘 和

KOGISHI HIROKAZU

新卒で株式会社リクルートに入社し、大手企業を中心に採用・人材教育の広報企画およびコンサルティングを経験。その後、結婚情報誌「ゼクシィ」のプロジェクトに参画し、同誌の全国展開に関わった後、独立。当初は式場やホテルの再生コンサルティングを手がけていたが、再生先の経営を任されることになり、式場の運営事業へ。ウエディングプランナーという職種の認知度が低かった時代に、ウエディングプランナーのTVドラマを仕掛けるなど、業界のあり方にも常に一石を投じてきた。

とことん「人」にこだわった会社になる

ディアーズ・ブレインを立ち上げた時に考えたのは、どこよりも人にこだわった会社をつくりたいということでした。施設の空間の魅力に加えて「人」が創り上げる、一つひとつ異なるドラマを創出することを楽しむ集団をつくりたいと思ったからです。人材ビジネス出身の私は、自分の経験からも、装置やシステム以上に、人が生み出す可能性の大きさを体感してきました。だからこそ、ディアーズ・ブレインでは人材にとことんこだわろう、どこよりも本気で採用に力を入れよう。人材を制したものが顧客に選ばれる企業として成長していくはずだ、と考えてきたのです。中でも、新卒採用に注力しているのは業界の常識を打ち破っていきたいから。ビジネスとは、こういうものという形式に捉われず、自由な発想で企画提案をしていく必要がある。だから、ディアーズ・ブレインは、いい意味で未完成かつ現状不満足な集団。ゼロから発想して新しい扉を開き続けていく。そういうDNAを持った組織を目指しています。そして、人で勝負する、と決めたからこそ育成の仕組みにもこだわりがあります。まずは、同期のつながりを強くする。内定者が集い、海外の子供たちのために交流会を企画したり、国内では地域密着型のイベントをゼロから創り上げる。そうすることで、同期としての絆を深めるだけでなく、やり遂げることを体感する場を用意しています。

楽しくなければやったところで知れたもの

仕事をするうえで大切な要素のひとつは主体性だと考えています。主体性とは、「自ら動く」ということ。私が理想と考える仕事とは、同じゴールに向けて多様な手法でメンバーたちが自ら考え、自ら動き、挑んでくれることです。そして、それを実行するためには自分をコントロールできないといけない。だから人として強さが必要。会社としても、そこを鍛えていくけれど、自分自身も意識を持ち続けることが何よりも重要。だからこそ、私は「楽しくなければ、やったところで知れたもの」という言葉を起業当初から大切にしていますし、そのあとには、「楽しむためには強くなることが大切」という言葉が続きます。まずは自身が成長し強くならなければ楽しめるはずがない。メンバー全員が夢中になって仕事に取り組み、自身や組織の成長を楽しむ、それがディアーズ・ブレインの成長につながってきたのだと自負しています。

Dears

一話完結のドラマを創り上げる、だからこその涙もある

私たちのこだわりは、お客様と一体になって結婚式を創っていくことです。それに気づいたきっかけは、設立間もない頃にある自社店舗を訪れた時のこと。なぜかスタッフみんなが泣いている、理由を聞くと新郎様の謝辞に感動したと言うんです。おふたりは「結婚式を行うことは無理かもしれないとまで思ったけれど、この日を迎えられたのは、プロデューサーの支えのおかげ」と話してくれたそうです。そのプロデューサーは、とにかくお客様に向き合う、だからこそお客様の心も掴んでいく。そんな彼女が創った結婚式にお客様とともに涙を流すスタッフを見て「これでいいんだ！」と実感し組織が成長していく過程を見たと確信したのです。だから、ディアーズ・ブレインでは、プロデューサーがお客様と一緒に泣いても全然構わない。ウエディングという一話完結のドラマを創り出す度に、社員の成長がある。ウエディングプロデューサーは、おふたりにとって最初のパートナーでもあるからこそ、そういう想いを全身で表現できる人こそが、お客様の人生の最高のドラマを創り上げ、活躍していける仕事だと思っています。

一人ひとりが扉を開けて、限界に挑み続ける

自分の限界を超えて成長することを楽しんでほしい。私自身もこれまで何度となく限界を超える経験をし、その度に視界が広がる瞬間を感じ、成長を実感してきました。ディアーズ・ブレインのメンバーには、その経験をしてもらいたい。自分の能力やキャパシティを広げることで得る喜びややりがいを感じてほしい。ブライダルという領域に捉われず、そうやって人生を切り拓ける人と一緒に働きたいと考えています。私たちの企業理念は「OPEN DOORS!!」。そこに込められているのは会社の新たな扉を開けるのはメンバー一人ひとりだということ。1000人のメンバーが毎日扉を開けていかない限り、会社は変わらない。自身の成長やチャンス、変革が会社を強くしていくし、成長させていく。今日より明日、明日より明後日が良くなるという感覚を持てる組織でありたい。ぜひ、こうした想いに共感したり、ワクワクしてくれる人と一緒に働きたいと思います。

BRAIN

事業の拡がり

“OPEN DOORS!!” の理念のもと、
マーケットニーズを捉えた新たな事業に挑戦し続けます

常に自分を磨き、経験を糧にしながら、それぞれの個性がチームになって化学反応が起きれば、私たちにしか生み出せない新しい価値を創っていける。今までになかったビジネスにも挑んでいく。これからさらに、私たちの事業は拡がっていきます。

ハウスウエディング事業

地域の特性や文化、周辺環境を考慮して生み出された、すべて魅力の異なる個性的なゲストハウス型結婚式場を運営。全国23店舗で年間4,000組を超える結婚式を提供。

MICE 事業

運営施設のソフト面・ハード面の強みを活用し、インバウンドも含めた企業・団体の会議、宴会、報奨旅行、展示会、イベント等を誘致。

レストラン事業

レストラン単体としての事業展開を視野に入れ、これまでのハウスウエディング事業で培ったノウハウを活かして、食を通じた新たな付加価値を創造。

アライアンス事業

海外挙式後の国内での披露宴等、多様化するニーズに応え、自社施設だけでなく提携先のレストラン等でのウエディングサービスを提供。

Dears Produce TOKYO

コンサルティング事業

大手ホテルグループや専門式場をはじめとする各種施設へのコンサルティング事業を展開。これまでに全国50施設以上のコンサルティング実績。

ドレス事業

“好きを、ステキにする魔法” をコンセプトに自社ブランド「chouette!」を展開。ゲストハウス3店舗に直営のコスチュームサロンを併設。

キャリアステップ

一人ひとりの成長が加速する、「仕事を楽しむ」キャリアの形
挑戦のステージは拡がっています

入社後はウエディングプロデューサーの経験を軸に、さらに仕事を極めチャレンジできるステージを用意しています。

新卒入社時：ウエディングプロデューサー

一組のお客様をご見学からスマイル当日まで、一貫して担当。結婚式を通して、人生を支えるほどの未来を創り出します。

チーフウエディングプロデューサー	店舗運営のサポートやメンバー育成をしながらもよりクオリティの高いスマイルを創り出していく。
シニアウエディングプロデューサー	結婚式を極めるスペシャリストとして、結婚式のプロデュースだけでなく社外コンテストへの出場やセミナー登壇なども行う。
スマイルディレクター	店舗の接客フロー構築やアイテムのクオリティアップなど、店舗を横断しDears Weddingのブランド力を高めるミッションを担う。
アカウントディレクター	高い営業スキルを活かし、新規のお客様への接客を専門的に担当。全店舗の営業力を高めるプロジェクトメンバーとしてプロデューサー育成にも携わる。
支配人・エリアマネージャー	店舗の責任者として、売上管理、スタッフの育成、店舗プロモーション企画、パートナー折衝など、マネジメントを含めた式場運営に関わる全般に携わる。
新店舗立ち上げ	オペレーション構築やウエディングアイテムの選定、マーケット戦略など新店舗のスタンダードをゼロから創り上げる。
レストラン・ホールスタッフ	美味しい食事とこだわりの空間でお客様をおもてなし。結婚記念日や誕生日など大切な日に彩りを加える。
ドレススタイリスト	ウエディングドレスから小物までトータルコーディネートを提案。オリジナルブランドのドレスデザインにも携わる。
アライアンス事業	有名レストランやゲストハウスなどと提携し、海外ウエディング後の帰国後パーティや、1.5次会などのアフターパーティをプロデュースする。
MICEコンシェルジュ	ウエディングプロデューサーの企画力を活かし、企業や行政の法人担当としてイベントをプロデュース。
ジョブローテーション（本社業務）	・人材開発　・店舗開発　・広報　　など 全店舗の営業サポートや社員が働きやすい環境づくりを行う。
グループ会社	・グループ会社でのウエディングプランナー　・ハネムーン事業 ・新規事業に携わる　　など　ディアーズ・ブレインでの経験をグループ会社で発揮し、グループシナジーを創出する。

マネージャー 佐藤友耶

20代から50人を超えるチームを動かす

下から追い上げる。野球部で学んだ勝ち方

業界トップの企業よりも、自分の力で押し上げていける環境で働きたいという想いから、ディアーズ・ブレインに入社しました。そんな強い想いで選んだ会社でしたが、実際に仕事を始めてみると、初成約も、単独での打ち合わせもすべて同期に後れをとっていて、初担当のスマイルを迎えるまでは焦る気持ちばかりが先行してしまっていました。「いち早くプロデューサーとして結果を残したい」とがむしゃらに突き進んだ結果、2年目に成果を出すことができ、それが認められ、地元関西の1号店でもあるKOTOWA京都 八坂へ異動が決まりました。店舗のメンバーが変わることで自身の働く環境も大きく変わり、そんな中で「仕事を通してキャストがやりがいを感じられる環境をつくり出せる支配人になる」という目標を見つけたんです。学生時代に野球で弱小チームから這い上がって甲子園出場を果たした経験がありました。その成功体験を活かして、努力を重ねた結果、入社3年目で実質の支配人業務を任されるほどに成長できたのです。

決して、強豪校とは呼べない野球チームから甲子園出場まで“大逆転”した経験は大きい。一番にあぐらをかくのではなく、一番を獲得するプロセスを楽しみたい。学生時代の”強いチームづくり”の経験は、支配人としてのチームづくりにも活かされている。

「仕事を楽しむ」をリーダーとして、どうつくり出すのか

負けず嫌いな自分ですが、支配人になって半年ほどは自分の無力さを感じていました。年上のメンバーも多く、必要以上に気遣ってしまったり、もどかしい日々が続きました。打破できたのはメンバーに深く関わる機会をつくる中で「みんなに成長させてもらっている」と感じるようになった瞬間です。それが転機となり、チームの温度も変わり始めました。私が今、メンバーマネジメントする上で大切にしているのは、みんなに「結果を残しながら楽しんで働いてもらうこと」。一人ひとりの仕事への想いを聞きながら、チームの目標をみんながワクワクする気持ちで共有できるものにするよう心掛けています。例えば2019年は猪年だったので、「猪突猛進」にちなみ「ちょっと積もう精神」で、チームで目線を上げて高い目標を目指していました。私自身、新卒として入社をして、「チームで働いていることが楽しい」と日々感じていたので、そんな環境をつくっていきたいです。また、メンバーとは家族以上に一緒にいるので、成長を見られるのが本当に楽しい。「真のリーダーとは、自分のスキルをはるかに超える人材を生み出すこと」。これは同期からもらった大切な言葉です。メンバーには自分を超える人材に育ってほしいですし、どの店舗に行っても活躍する人になってほしいですね。

入社2年目で優秀プロデューサーとして表彰台に上がれたのは、当時の最高のチームのおかげ。支配人になった今も、チーム力を最大に発揮する面白さを体感させてくれた、当時のチームが理想の組織。

勝つ喜びを
チームのみんなに伝えたい

支配人になった当時、メンバーの特性としてスマイルへのこだわりやお客様目線を大切にできるメンバーが多い一方で、ビジネス的な観点でいうと、より数字にもこだわるチームになっていく必要がありました。その点はもっと成長できる余地があると思い、数字が上がることの楽しさをチームメンバーに共有していきました。私自身も数字管理が得意だったわけではないので、経営など売上や利益に関わる勉強は怠りませんでした。その結果、店舗では年々過去の業績を更新し続けています。メンバー全員が目に見える形で成長していると感じるし、店舗全体が「勝つことが楽しい」という雰囲気を味わえている。支配人としては、億単位の売り上げがある店舗を取りまとめているからこそ、当然プレッシャーもあります。しかし上司にも恵まれているので、いい緊張感を感じながら、与えられたものはクリアして当然という気持ちで、目標は大きく掲げて、達成することの楽しさをこれからも味わっていきたい。そして結果が出た今は、勝ちにこだわるだけでなく、原点である「お客様のために何ができるか」という視点を改めて大切にしています。「現状維持は衰退のはじまり」。常に進化していきたいです。

支配人を意識し出した頃から、よく読むようになった自己啓発の本。チームづくりの仕組みを整えていくだけでなく、自分の知見を広げることにも貪欲に。

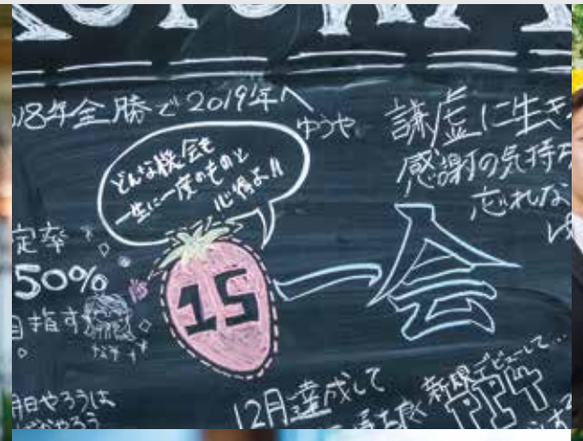
2014年
ディアーズ・ブレインに新卒入社。
グレイスヒル・オーシャンテラス配属
同期に後れをとり、悔しい新人時代の幕開け。初スマイルを経験したのち、必死の努力で、多くのお客様にご支持いただけるように。

2016年
KOTOWA京都 八坂へ異動
入社２年目で、総合成績上位のみが表彰される優秀プロデューサーに選ばれる。その結果が認められ、地元関西の第1号店である京都の店舗へ異動。

2016年
支配人代理へ昇進
激戦区京都で、店舗がより結果を出していくというミッションを得て、マネジメント業務を担う。

2018年
支配人へ昇進
社外パートナーも含め、50人以上のスタッフを率いる。

2021年
マネージャーへ昇進
複数店舗を統括するエリアマネージャーに最年少で着任。自身の意思決定・選択によって、会社としての方向性が変わる責任とやりがいを実感。



事業開発部　主任

山下千里

地域の特性を活かしディアーズ・ブレインらしい店舗をつくる

まだ何もない土地から、未来の会場を想像する

4年間ウエディングプロデューサーを経験し、約140組のお客様を担当しました。中でも印象に残っているのは、足の不自由なお客様のスマイルを担当させていただいたこと。おふたりが不自由なく安心してお過ごしいただけるよう設備構造の見直しやスマイル当日までの動きを入念に整えるなど、これまでにない新たなチャレンジばかりでしたが、「お客様のために」を体現できたスマイルでした。そういった経験やもともとゼロから何かをつくり上げることが好きだったこともあって、次第にお客様とのスマイルの内容づくりだけではなく、もっと前の段階から、お客様に“ここなら私たちの思い描く結婚式を叶えることができる！”と選んでいただける会場づくりに携わりたいと思うようになり、事業開発部への異動を希望しました。ジョブローテーションのチャンスをいただいた時は、粘り強く努力を続けたことで掴んだステージだからこそとてもワクワクしましたし、このチャンスを自身の成長につなげていこうと身が引き締まる想いでした。

内定者時代の同期との写真。今でも互いにいい刺激を与え合う、大切な存在。

鹿児島3店舗目の新規出店、社運を賭けたプロジェクト

異動当初から、新規出店の用地選定と既存店のリニューアル、インテリア選定、メンテナンスを担当しています。いずれも、キャストやお客様からの要望を吸い上げるために、毎月店舗に顔を出し、キャストと会話をしながらじっくり館内を見るように心がけています。建築や不動産という未知の分野への挑戦と、BtoCからBtoBの仕事に変わったことで、経験も立場も上の方を相手に仕事をするようになりました。そこから責任感が生まれたのと、“経験値を言い訳にしたくない！”という気持ちから、専門用語などを猛勉強。目標だった新店舗の開発をメインで担当させてもらい、2019年1月に「THE BAYSUITE SAKURAJIMA TERRACE」がようやくオープンしました。この新店は、桜島と錦江湾を望む絶好の立地で、ポテンシャルの高い会場。その上、会社としても開発に力を入れた、社運を賭けたもの。店舗のコンセプトづくりから会場の細部までこだわりました。プレッシャーは大きかったですが、一つひとつを形にしていく中でウエディングプロデューサーの経験を活かし、様々な部署と連携しながら特別な会場をつくり上げることができました。ディアーズ・ブレインらしい地域の特性に合わせた店舗開発。「大切な店舗をつくり出す」という責任感と、やりがい、ワクワク感。日々、刺激を感じながら仕事をしています。

事業開発の仕事は初めて耳にする用語や知識ばかり。建築や不動産の専門用語について勉強することで、興味の分野や知見も広がった。

自分の可能性を広げて、
海外の店舗開発にも挑戦したい

事業開発部にきて、ウエディングプロデューサーの経験があったからこそ活きたことはたくさんありますが、社外の方と多く関わることによって多角的な視点が身につきましたし、立場の異なる人の意見をまとめる難しさと面白さも学びました。さらに、事業開発部は土地や建物、家具の管理を行っているため、社内でも一番大きなお金を扱う部署。だからこそ、“予算があるから使ってよい”ではなく、大切なお客様のお金をお預かりし、現場キャストが頑張って生み出したものを、どうお客様へ還元できるかを常に考えています。プロデューサーの時以上に、お金のサイクルを考えることや、予算管理を徹底的に行うことができるようになりました。今後は海外店舗やホテルの運営なども挑戦してみたいです。学生のころからアジアなどの国々でホームステイしながら旅をするのが好きだったので、いつか、海外の施設をつくるチャンスがあったら、チャレンジしたいと考えています。経験を積めば積むほど、やりたいことが増えていく。そう感じるのも就職活動の時に、「裁量を持って自分らしく働ける会社」と直感したから。その感覚は正しかったです。もっともっとここで、自分の可能性を広げていきたいと思います。

事業開発部では、海外出張のたびにご当地の置物をお土産としてプレゼントすることが恒例になっています。写真は先輩からもらったベトナムのお土産。

2011年
ディアーズ・ブレインに新卒入社。ブリーズレイ・プライベートテラス配属
地元、佐賀の会場へウエディングプロデューサーとして配属。一つひとつの式をオンリーワンとして形づくる日々の中で、お客様との深いつながりが生まれた。現在も、お手紙のやりとりや忘年会、東京まで訪ねてきてくれるような関係が続いている。

2013年
九州グループキックオフにて店舗ベストスマイル賞を受賞
身体の不自由な新郎様のスマイルを担当。チャペルの段差を感じさせない工夫をしたり、一生に一度の夢を叶えたい新婦様の気持ちに寄り添ったり、全体を見据えてプロデュースしたことでお客様のご家族からも感謝の言葉をいただき、「お客様のために」創るスマイルの深さを学んだ。

2015年
ジョブローテーション制度で、事業開発部に異動
「ゼロからつくる」ことに興味があったため、事業開発は入社前からの憧れの部署。現場でお客様と向き合い続けた経験を活かして、もっともっと幸せの空間そのものを広げたいと異動を希望。主に既存店のリニューアルや新規店舗の用地選定を担当。

2018年
鹿児島３号店の、新店舗開発を担当
新規店舗の立ち上げを初めてメインで担当。用地選定から、コンセプトの開発、建物のデザイン設計、サービス導線に至るまで、すべてをゼロから構築した。この経験には、4年間のプロデューサー経験も大いに活かされた。

内定から入社までのスケジュール

働くイメージをリアルに描いてもらうため、入社までにより多くの先輩社員と会える機会をつくっています。内定から入社までの期間も、様々なイベントやプロジェクトを用意。全国から集まる同期とともに安心して入社を迎えられるよう内定者期間のスケジュールをお伝えします。

6月 内定者顔合わせ

全国から内定者が集結。これからスタートする内定者研修「Ringプロジェクト」についても詳細が発表され、半年間の内定者プロジェクトの幕開けです！

8月 店舗見学バスツアー

ディアーズ・ブレインが運営するゲストハウスを見学。
先輩との座談会では、内定期間中の過ごし方など入社前に不安なことを相談できる場も用意。

10月 内定式

式典を行うだけでなく、内定者が一丸となって取り組んでいるRingプロジェクトの進捗発表会を社員へ向けて行います。

12月 海外 Ring 渡航

1月 国内 Ring 開催

全社キックオフ

年に一度、全社員が集結する日。内定者もディアーズ・ブレインの一員として参加し、Ringプロジェクトの報告発表を行います。

4月 入社式

内定者研修 Ring Project

ディアーズ・ブレインでは、同期との絆を深め成功体験を得て成長を促進する内定者プロジェクトを用意しています。この経験を通して体感してほしいのは、形のないものをチームで創り上げる難しさと面白さ。ステージアップした状態で社会人を迎えるための準備期間を一緒に楽しみましょう。

海外 Ring プロジェクト　世界に学校をつくり、交流会をプロデュース

新卒採用が始まった2006年からスタートし、これまで「10年10か国10校」を達成、東南アジア諸国に小学校などを寄付してきました。2016年からは「Double Ring」をテーマに継続的な支援で地域との結びつきを強める動きがスタート。現地で開かれる開校式と交流会はすべて内定者がプロデュースし、当日は全員で現地の子供たちと直接触れ合うことで、プロジェクトの成功体験を得ています。コロナ禍では調理新卒と連携をして「継続的支援」のために手作りマスクをプレゼントしました。

国内 Ring プロジェクト　就活生のためのイベント【NNS】を企画・運営

イベント当日を迎えるまでの様子

2009年～2019年にかけて、ディアーズ・ブレインの内定者を中心にブライダル・ホテル・旅行業界の内定者が集って、就活イベントを東京・大阪・福岡にて開催していました。2019年で10周年を迎え、2020年からは第2章として新たなプロジェクトをスタート。2021年新卒内定者からは「コロナ禍での就活」にフォーカスを当て、先輩たちのノウハウを受け継ぎ、オンラインでの新たな就活支援を行いました。

1 企画 MTG

オンラインを活用することで、全国の同期との絆を深められる時間となりました。同期のみんなと何度もMTGを重ね、ゼロからイベントを企画していきます。

2 広報活動

集客活動も自分たちで考えた戦略をもってアプローチ。試行錯誤して完成したチラシでの広報活動には気合いが入ります。

3 リハーサル

約半年間かけて準備してきた集大成に向けて、リハーサル。同期の絆も最高潮に高まり当日を迎えます。

GOAL イベント当日

参加してくださった方々へ、期待以上の価値を提供するために一人ひとりが全力で気持ちを込めて創り上げる一日。

入社 1年目のスケジュール

ディアーズ・ブレインでは入社前の「Ringプロジェクト」から管理職のための研修まで、社員の成長に合わせた段階的な研修を行っています。専門性を高めるためのものや今後のキャリアを考える場面など、内容も多種多様。特に入社1年目は、ビジネスマナーやウエディングの知識を蓄えていけるよう、充実した研修を用意しています。

4月1日 **入社式**

入社導入研修

4月1日〜中旬ごろ

2週間にわたる合宿形式での研修。社会人としての心構えからブライダル知識、マナーまで、働く上での基礎を学びます。一人ではなく同期がいるからこそ、時には支え合い、時には良きライバルとして共に社会人としてステップアップする時間です。

店舗初出勤

4月20日前後

いよいよ店舗での勤務がスタート！
店舗配属後は、【チューター制度】によりマンツーマンで教育担当の先輩がつき、スキル面やマインド面のフォローをしていきます。

W（ダブル）担当

先輩が担当するお客様との打ち合わせやスマイル当日に同席をし、実践的な業務を学びながら先輩と一緒にスマイルを創り上げます。

■チューター制度
■OJT研修
■フォローアップ・スキルアップ研修

店舗でのOJT研修（新規接客・打ち合わせ・接客ロールプレイングなど）とは別に、随時フォローアップ研修・目標設定研修など、同期で集まる合同研修を開催。

打ち合わせデビュー

W担当と並行して、自身が担当するお客様の打ち合わせもスタート。
いよいよスマイル当日に向けて少しずつ独り立ちです。

初スマイル

秋から冬にかけて

秋から冬にかけて、いよいよ初スマイル当日を迎えます。数か月かけてお打合せを行ってきたお客様との想いがカタチになる日です。

2年目以降

プランナーズカレッジ	全プロデューサー対象	ウエディングトレンドやこの先業界で求められるスキルを習得する研修です。
スキルアップ研修	入社2年目対象	必要なスキルが身につくようステップごとに整えられた内容を学びます。
キャリアデザイン研修	入社3年目対象	一人ひとりに合わせた、中長期的なキャリアを考えていきます。
チューター研修	育成担当者対象	新入社員の教育を担当するメンバーで、人材育成を学びながら受け入れ体制を整えています。
次世代リーダーズ研修	選抜者対象	次世代リーダーを選抜し、リーダーとして必要な、マネジメントスキルを学びます。

役職別研修

支配人研修 / シニア研修 / チーフ研修 / Wonder Discoveryグループ研修

店舗運営・マネジメントについての研修やグループ会社全体での研修を用意しています。
※その他、若手〜経営幹部まで階層別に150種類以上の社外セミナーが無料で受講可能です。

弾丸トラベラー研修

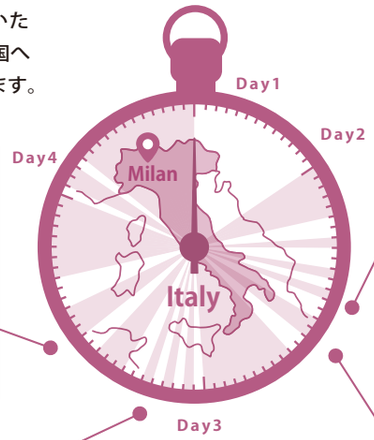
「仕事では得られない体験がしたい」という社員の声から生まれた制度。全社員を対象に旅の目的やプランを書いた企画書を提出後、当選者を発表。既定の時間内で好きな国への渡航や無人島体験、Ringプロジェクトへの参加ができます。

中山典子の場合
日本 東京 → 行き先：イタリア ミラノ
84時間 弾丸スケジュール！

研修を終えて

時間が凝縮されているからこそ、どこへ行って何をするか。 時間を有効に使おうと自分の足で街を散策することができたため、ミラノの土地の魅力を全身で感じることができたと思います!今回の旅では、見せ方次第で商品の魅力が2倍にも3倍にも伝わることを改めて学ぶことができました。プライベートでの旅行とは違い、仕事に活かせる経験ができるのが弾丸トラベラーの魅力です！

ミラノの街並みを散策。アートやショッピングも楽しめました！



ドレスショップ往訪。トレンドのドレスがずらり!広いフロアにたくさんのドレスがディスプレイされていて感激。

アトリエ往訪。ディスプレイされているドレスは上質且つ、インポートブランドならではのデザイン。

世界最大級のゴシック建築、ドゥオモを観光。ステンドグラスは圧巻！

表彰制度

様々な表彰で互いの功績を称え合います。
その他、店舗の成績や勤続年数に応じた表彰制度もあります。

ルーキーAWARD

新卒ウエディングプロデューサー1年目対象

筆記試験・接客ロールプレイング大会で総合的に優れた成績を収めた人を表彰

Best Smile AWARD

ウエディングプロデューサー対象

年間で最も素晴らしいスマイルをプロデュースしたキャストを表彰

MVP・MVS

ウエディングプロデューサー対象

年間で総合評価の高いキャストが選出される賞

新卒料理コンテスト

新卒調理1年目対象

入社して学んだことを料理で表現し、発想や完成度を競うコンテスト

料理コンテスト

調理スタッフ対象

設定に合わせたメニューを考案、クオリティの高さを競うコンテスト

Smile for Smiles AWARD

全キャスト対象

スマイルの価値を高めるための新サービスを店舗ごとに提案。自ら考案した企画が実現します

株式会社ディアーズ・ブレイン
〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 芝公園フロントタワー
mail : db-freshers@dearsbrain.jp

instagram : @dearsbrain_recruit twitter : @db_recruit

https://www.dearsbrain.jp/recruit/